

## ●前日まで●

- ・もう一度、集合時間などを確認しておきます。
- ・受験票に持ち物や注意が書いてある場合が多いです。また、“受験上の注意”などのプリントをもらっている人もいます。わかっていることでも、一通り目を通しておきましょう。
- ・持ち物と服装を点検しておきます。
- ・次の日に備えて、早めに寝ます。すぐに寝つけなくても、静かに横になって目を閉じているだけでもよいのです。



## ●試験当日●

- ・朝は早めに起きます。脳も全力が出せるようになるには、3時間くらいはかかります。
- ・朝食は軽くても必ずとり、トイレも済ませましょう。
- ・持ち物をもう一度点検します。
- ・集合時間に余裕をもって高校に着けるように家を出ます。通勤の時間帯と重なって、交通機関がかなり込むこともあります。また10日は平日、11日は祝日のダイヤになるので、電車などの時刻を間違えないように気をつけましょう。
- ・途中で何かあっても冷静に判断して行動しましょう。とにかく遅れずに高等学校へ行くことが大切です。どうしても困ったら、淀川中(06-6928-0001)に電話をしましょう。
- ・万が一、発熱など体調が悪ければ、必ずまず淀川中に電話しましょう。早急に高校に連絡を取ります。考えられるのは①できれば別室受験をお願いする。②1.5 次入試に振り替えてもらう。(注!!実施されない学校もある。)

## ●受験校では●

- ・高等学校に着いたら、まず掲示物に注意します。(注意事項、受験会場について、予定などが書いてあることがあります。)連絡の見落とし、放送の聞きもらしのないように気をつけましょう。
- ・次にトイレの場所を確認しておいて、早めに行っておきます。(なにしろ、大勢が受験します。「後で」と思っていたら混んでいて、結局1時間がまんするはめに…よくあることです。)
- ・いろいろな人が受けに来ています。トラブルにならないよう、注意しましょう。
- ・自分でも知らない内に気が高ぶって、いつも以上にはしゃいでしまったり大声をあげてしまったりしてしまふことがあります。休み時間などの過ごし方も気をつけましょう。
- ・校舎内は関係のない場所をうろうろしてはいけません。
- ・体調が悪くなったなど、困ったことがあれば高等学校の先生に申し出ましょう。



## ●テストに臨んで●

- ・監督の先生の指示をよく聞くこと。
- ・「始め」の合図の前に筆記用具をいじっていたり、近くの席の人としゃべったり、目を見合わせたりしているのは、不審な行為です。
- ・何気なくしてしまいがちですが、寒いからといってポケットの中に手を入れてカイロをにぎったりしているのも、不審な行為と見られることがあります。
- ・決められたもの以外は、机の上に出してはいけません。
- ・用紙を配られたら枚数などを確認し、最初に受験番号、名前をきちんと書きます。

## ●答えは●

- ・“読んでもらえる答案”を意識して丁寧に書きます。採点する先生達は君たちの事を全く知りません。「この子はこういうつもりで書いたのだろう」というような推測をするわけにもいきません。下の項目は、一部の例です。“読んでもらおう”という気持ちで丁寧に書きましょう。

- ×乱雑な字、なぐり書き、くせのある字(極端な時は読めません)は絶対にダメ。
- ×消しゴムで消したつもりがきちんと消えていなくて、その上に重ねて書いた。
- ×一ヶ所を消したつもりが、まわりも少し消えてしまっていた。
- ×はっきりしない、あるいはくせのある字で他の字にも見える。特に記号など(アとカ、シとツ、クとワ、チとテ、ケとク、1と7など)
- ×答えが解答欄から大きくはみ出している、あるいは極端に小さな字、薄い字など読みにくいですね。

- ・誰でもミスはしてしまうものです。最後の一秒まであきらめず、何度も見直しをしましょう。テスト中に寝るのは、「やる気がない」と言っているようなものです。

### よくあるミス

- ! 記号で答えるのに、言葉で書いてしまった。
  - ! 「2つ答えよ。」とあったのに1つしか書かなかった。
  - ! 漢字の書き間違いをしてしまった。
  - ! 解答欄を間違えてしまった。
  - ! 英語でピリオドやクエスチョンマークなどを書き忘れた、月や曜日の名前の最初の文字を小文字で書いてしまった。
- 今まで何回もテストを受けて、『ああ、しまった!』という経験をした人もいるでしょう。あったことを思い出して、同じ失敗をしないように、いろいろな角度から見直しましょう。